

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	< A 区分 > 大阪城北詰・京橋駅自転車駐車場、桜ノ宮駅自転車駐車場、野江内代駅自転車駐車場、都島駅自転車駐車場、JR 玉造駅自転車駐車場、新深江駅自転車駐車場、地下鉄今里駅自転車駐車場、鶴橋駅自転車駐車場、深江橋駅自転車駐車場、緑橋駅自転車駐車場、清水駅自転車駐車場、新森古市駅自転車駐車場、関目高殿駅自転車駐車場、千林大宮駅自転車駐車場、太子橋今市駅自転車駐車場、今福鶴見駅自転車駐車場、蒲生四丁目駅自転車駐車場、鳴野駅自転車駐車場、関目成育・関目駅自転車駐車場、放出駅自転車駐車場、横堤駅自転車駐車場、地下鉄玉造駅自転車駐車場、鶴見緑地駅自転車駐車場
施設所管課・担当	建設局総務部管理課（自転車対策担当）
条例上の設置目的	駅周辺並びに公共の場所における自転車、原動機付自転車及び自動二輪車（以下「自転車等」という。）の放置による危険又は障害を解決する手段の一つとして設けている本市の有料自転車駐車場（以下「有料駐輪場」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項及び大阪市立有料自転車駐車場条例（平成18年条例第87号。以下「条例」という。）第5条の規定に基づき、有料駐輪場を設置している
業務の概要	・市立有料自転車駐車場の管理運営に関すること ・有料自転車駐車場及び附帯施設の維持保全業務
成果指標	・市民サービスの向上に伴う利用満足度
数値目標	利用満足度：利用満足度のアンケート結果のうち90%以上
指定管理者名	サイカパーキング連合体
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用満足度
数値目標	90%
年度実績	98.2%
達成率	109.1%

利用状況

	当年度	前年度	前年度差
利用台数（定期）	167,653	164,502	3,151
利用台数（一時）	3,044,572	3,013,008	31,564
利用率（定期）	75.2%	74.2%	1.0%
利用率（一時）	109.2%	108.0%	1.2%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	①差異（実績－計画）	②差異（実績－前年度）	主な要因
業務代行料	実績	－	－	－	－	
	計画	－	－			
利用料金収入	実績	662,726,788	650,155,085	-48,707,212	12,571,703	①新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及し、利用者が減少したため。 ②コロナ前の数値には程遠いものの、前年比ではプラスとなった。万博による利用増と年間通じて一時利用の増加が見られた。
	計画	711,434,000	711,434,000			
その他収入 （自主事業収入）	実績	－	－	－	－	
	計画	－	－			
合計	実績	662,726,788	650,155,085	-48,707,212	12,571,703	
	計画	711,434,000	711,434,000			

支出		当年度	前年度	①差異（実績－計画）	②差異（実績－前年度）	主な要因
人件費	実績	297,663,300	292,930,288	42,727,300	4,733,012	①計画時の想定より、最低賃金が上昇したため。 計画時：197名、@1,071円 実績：195名、@1,146円 ②短時間勤務の推進を図り、社会保険費の見直しなどを積極的に展開したが、最賃増の影響は大きく計画値から大きな差異が発生した。
	計画	254,936,000	252,822,000			
管理費	実績	459,734,842	450,144,914	59,405,842	9,589,928	①修繕計画自体は概ね予定通りであったが、単価等の物価上昇影響が見られた。 ②水光熱費や通信費、外部委託となる緊急対応費について前年度プラスとなった。
	計画	400,329,000	400,974,000			
その他事業費 （自主事業支出）	実績	－	－	－	－	
	計画	－	－			
合計	実績	757,398,142	743,075,202	102,133,142	14,322,940	
	計画	655,265,000	653,796,000			

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用満足度	109.1%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
本市からの支出を0とし、かつ本市に納付金を納めている	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

実施内容（質問項目）：（安心・信頼、服装・身だしなみ、施設の快適さ、掲示物の見やすさ、整理整頓（自転車）、挨拶・接客態度、説明・コミュニケーション） 調査方法（期間）：アンケート調査（非常に良い・良い・普通・悪いの4段階評価） 新森古市駅を除く22駐輪場（令和8年1月25日～2月24日） 回答率：43.8% （22駅（配布2,300枚 回収1,007枚）） 結果の算出方法：上記の実施内容（質問項目）の総合評価 結果：非常に良い・良い・普通 98.2% 悪い1.8%
--

6 外部専門家意見

・収支は△94百万円(前年度は△92百万円)。収入の一部は大阪万博による一時的な増加と考えられ、来年度以降の一時利用は減少することが見込まれる。収入はテレワーク等により利用者が減少し、人件費・管理費は最低賃金や設備単価の上昇により非常に厳しい収支が継続しており、民間事業であれば撤退の判断を迫られる状況にある。他の区分に比較し収支のマイナス幅が大きく、立地特性等を考慮する必要はあるが、人件費・管理費の見直しを行いつつ、外部環境の変化を踏まえ事業の継続性を考慮すると利用料単価の見直しも必要な状況と考えられる。 ・新型コロナウイルスによる影響により収支差額が大きく出た点については、現状を踏まえた収支予測による見直しにより、次年度以降の改善が見込まれる。ただし、社会状況の変化に合わせた収支予測の見直しは、社会状況の変化に依存しているため、今回同様の状況が今後も起こり得るため、人員配置の見直し以外の将来的な展開を考えていくことを期待したい。たとえば、定期利用の大きな改善は今後見込めそうにない一方、都心部においてシェアサイクルの導入が推進されてきている。駐輪場の空きをシェアサイクルのポート化するといった、別事業との連携が実現すれば、利用者の利便性向上とともに、大阪市全域での駐輪場環境（不法駐輪対策）の向上につながることもあり得るのではないかと。
--

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・アンケートの結果において、「非常に良い・良い・普通」評価の割合が98.2%であった。 ・成果指標は達成しているものの、前年度から継続して新紙幣、新硬貨への対応不備に対する改善要望が多数見受けられることから、当該意見等を踏まえ、利用者満足度の向上につながるよう施設の管理運営に努められたい。
市費の縮減	B	・提案どおりの基本納付金額を納め、計画どおりの市費削減効果を得ている。
管理運営の履行状況	B	・放置自転車啓発活動を区役所、地元協議会、関係各所と実施し、放置自転車対策に寄与した。 ・自転車駐車場の修繕に積極的に取り組んでいる。 ・施設の管理運営はチェックシートを使用し、毎月適切に実施していることを確認した。なお、一の自転車駐車場において、収入金、釣銭等の確認事務に関する管理員の認識誤りがあることが実地調査において発覚したため、全現場での改善を求めた（対応済）。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・啓発活動への多数の参加、修繕への取組は評価できる。 ・外部専門家意見にもあるとおり、引き続き事業方針や収支改善策を検討した上で、新紙幣、新硬貨への対応を早急に進めるなど、今後も、さらなるサービスの向上を図り、利用促進に努められたい。